

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日更新

事務事業名		環境美化推進員活動事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	野口 政浩
	施策	21	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	泉田 聡
	施策の柱	62	ごみの発生抑制とリサイクルの推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1145
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10189	根拠法令 合志市環境美化推進員設置要綱	成果優先度評価結果	: ⑤
								コスト削減優先度評価結果	: ⑨
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域のごみステーションの清掃等も兼ねて、市民の分別指導ができるような方の人材育成のため、平成11年度より開始した。環境美化推進員と市が連携し環境美化に取り組む。人口増に伴いごみステーションの設置箇所が増え、環境美化推進員の果たす役割も増大している。
【業務の流れ】	環境美化推進員への事業の説明会、報告会、視察研修、報償費・費用弁償支払事務、推進員用帽の購入等
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、役務費
【意見や要望】	区長や環境美化推進員より、増員の要望などがある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
環境美化推進員と連携し、年間を通じて地域の美化推進に取り組んだ。環境美化推進員への事業の説明会、報告会、報償費・費用弁償の支払事務を行った。会議開催回数2回。		環境美化活動に取り組む環境美化推進員への事業の説明会、報告会、報償費・費用弁償の支払事務。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議開催回数	回	環境美化推進員の人員減による、報償及び費用弁償の減。
イ: 研修会参加者数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ ア: 人口
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
ごみの分別に対する意識を高める		→ ア: 地域で活動された回数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
環境美化に取り組むうえで、環境美化推進員の活動は重要であるため、成果指標を「地域で活動された回数」とし、目標値は環境美化推進員一人一活動とし環境美化推進員数の「150回」と設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア	回	3	2	3	2	2	3	2	3	
	イ	人	83	0	160	0	0	162	0	165	
② 対象指標	ア	人	59,067	60,008	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	62,500	
	イ										
③ 成果指標	ア	回	148	150	160	150	161	162	163	165	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	4,651	4,442	5,275	4,340	4,602	5,306	4,923	5,306
		(A) 事業費計	千円	4,651	4,442	5,275	4,340	4,602	5,306	4,923	5,306
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	4,160	3,796	3,900	4,160	4,160	4,160
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	6	0	7	6	7	7	7	7
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	473	0	500	453	400	400	400	400	
	(B) 人件費計	千円	1,884	0	1,992	0	1,593	1,593	1,593	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,535	4,442	7,267	4,340	6,195	6,899	6,516	5,306	

事務事業名	環境美化推進員活動事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 会議を2回開催し、環境美化推進員の意識向上を図ることができた。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 目標達成のため、環境美化推進員一人一人の意識をを高めて活動してもらう。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ごみの発生抑制、リサイクルの推進状況はまだ十分とは言えず、啓発による成果向上の余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会議は説明会と報告会の年2回は必要だと考える。環境美化推進員数を減らせれば事業費の削減は可能だが、ごみの分別、発生抑制、リサイクルの推進が滞ると同時に、各推進員の負担が大きくなる恐れがある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 環境美化推進員からの依頼で、ごみの分別指導や違反ごみの引取りなど、現地で排出者に指導することがあり、正規職員以外では対応できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 各行政区からの推薦（2年任期）であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 一般廃棄物の処理は市町村の業務であり、市がごみの減量と地域の美化活動を推進していく上で、その業務を推進員に委嘱して行うのは適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度は、説明会を1回、報告会を1回実施した。それに伴う推進員への報償費・費用弁償の支払事務を行った。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

環境美化推進委員が事業内容を熟知し、意識を高めてもらうことで、成果の向上を図る。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策